

心を開き、心に近づく



教頭 富永 圭一

この4月に名瀬小学校教頭として着任し、3か月が過ぎました。毎朝正門を開けに行く時に合わせて、火ばさみとバケツを持って学校周りを一周することを朝活にしています。

写真は大量にゴミがあった時のものです。普段はだいたい、タバコの吸い殻が数本、マスク1～2枚といったところでしょうか。

児童が登校する歩道に自然の落ち葉はともかく、大人の落とし物が少しでも無いように、そして、児童や行き交う人々との交流を目的にこの朝活をしています。

さて、表題にある「心を開き、心に近づく」とは何のことでしょうか。これは、「一挨拶（いちあいさつ）」という禅問答に由来した言葉です。そう「挨拶（あいさつ）」です。

最初に述べた朝活の際、児童の姿を見つけると返事が聞こえるまであいさつをします。時には3回以上声をかけることもありました。（朝からうるさいですね(笑)）

近頃は、逆に大きな声であいさつをしてくれる児童も増えてきました。

ところがです！大人の方々からは一向に…。

（いえ、4月からすると間違いなく増えてきてはいるのです！）

名瀬の街は思った以上に都会サイズされ、顔見知りとはともかく、行き交う知らない人々とはなかなかあいさつを交わさないようです。

そんな名瀬の街を…は大きく出すぎなので、まずは学校周辺から、児童の元気なあいさつを街の人たちへとつなげていきたいと考えています。

さらには、保護者の皆様とも気持ちの良いあいさつを交わしたいと思っています。保護者の皆様が我が子にそのような姿を見せることで、子どもたちは

きっとそのまねをして、元気なあいさつができるようになると思っています。

そんな素敵な街を想像しながら毎朝の活動を続けていきます。自分の心を開き、相手の心へと近づく、元気いっぱいあいさつとともに。

ようこそ先輩！（教育実習）



名瀬小学校の卒業生で、今は大学で教師になる勉強をがんばっている、高梨史重さんが、6月3日(月)から6月28日(金)までの4

週間、教育実習に来ていました。

5月に来ていた実習生同様、夢に向かってがんばる先輩の姿は、きっと児童にまぶしく映っていたことと思います。

夢に向かってきばりんしょりよ！

HPからも御覧いただけます！

名瀬小学校のホームページを御覧になったことがありますか？



この二次元コードを読み込むとお読みいただけます。今後、配付物の精選をして、配信のみも検討していますので、是非一度御覧ください。

夏休みに向けて少しずつ



左の絵の子のようにならないように、担任は声を掛けて少しずつ持ち帰らせています。

御家庭では、持ち帰ったものについて、夏休みの期間を利用して、次のような見届けをお願いいたします。

- 色鉛筆やクレヨン、絵の具など補充の必要なものがないか。
- 破損して買い換えの必要なものはないか。